

地域の方が先生に

幌別鉄南地区連合町内会は、幌別東小学校の夏・冬の長期休暇に合わせて、児童の学力を向上させるため、校区の町内会員が『地域の先生』となり、学校運営協議会とともに児童の学びを支援しています。

子どもたちは、「教え方が分かりやすかったよ」とプリントに付いた大きな丸印に笑顔を見せていました。

幌別鉄南地区連合町内会

会長 森 芳昭



回覧で安否確認

さくら団地自治会は、毎月1回配布される市の広報紙『広報のぼりべつ』を各班で必ず一声掛けてから手渡しすることで、安否の確認も行っています。

また、市連合町内会からの月2回(10日・25日)の回覧文書には、回覧チェック表を添付して、班長が特に一人暮らしなどの高齢者の家庭に気配りをしています。

さくら団地自治会

会長 田淵 純勝



親子でスキーに挑戦

登別温泉地区連合町内会は、毎年、町内の小学生とその親を対象にスキーの楽しさを知ってもらうため、カルルス温泉サンライバスキー場で『親子スキー教室』を開催しています。

町内20人の参加者は、町内会員の指導のもと、スキー板を平行に揃えたり、ハの字型で滑ったりする技術を学び、きれいなシユプールを描いていました。

登別温泉地区連合町内会

会長 須賀 武郎

「よじつよ」と餅つき

緑ヶ丘町内会は、子どもたちに伝統や文化を伝えようと『餅つき会』を行いました。

参加した子どもたちは、きねの重みでふらつきながら、「よいしょ、よいしょ」と父母や役員の手拍子と歓声を受け、楽しく餅つき体験をしました。

ついた餅は、きな粉や納豆、雑煮など、好みの味付けでおいしく食べました。

緑ヶ丘町内会

会長 千葉 一男

